

短期留学生日本語プログラム 2012年度

衣 川 隆 生

1. 2012年度の概要

短期留学生は日本語プログラムを受講することで単位取得が可能である。2012年度においては、1日1コマの「標準日本語コース（SJコース）」7レベル、1日2コマの「集中日本語コース（IJコース）」4レベル、「入門講義」4科目に加え、「ビジネス日本語」2～3科目、「漢字コース」2科目において単位認定を行っている。

このうち、標準日本語コースの初級レベル（SJ101, SJ102）と集中日本語コースの初級～初中級レベル（IJ111, IJ112）においては、総合的な日本語能力を身につけるために、週5日出席すること義務づけている。SJ101, SJ102は1日1コマ・週5コマ・全70コマのコースであり、これらのコースを修了した学生には5単位を認定している。また、IJ111, IJ112は1日2コマ・週10コマ・全140コマのコースであり、これらを修了した学生には10単位を認定している。

SJ200以上のレベル、及びIJ211以上のレベルの学生は、レベルやニーズに合わせて文法・談話、読解、聴解、会話、作文のクラスを技能別に登録することが可能である。学生は1科目から最大5科目まで履修登録することができる。また、技能習熟度に合わせて配置されたレベルよりも下のレベルのクラスを登録することも可能である。ただし、2レベルで同じ名称の科目を登録することは認めていない。またSJコースとIJコースの科目を両方取することはできない。SJコースに登録した学生はSJコースの科目のみ、IJコースに登録した学生はIJコースの科目のみ履修することができる。コース修了時、SJにおいては1科目1単位を、IJコースにおいては1科目2単位を認定している。

入門講義は2012年度には春学期、秋学期それぞれ4科目開講し1科目2単位を認定している。ビジネス日本語は春学期には「ビジネス日本語1」「ビジネス日本語2」、そして「ビジネス日本語2」修了者を対象として「ビジネス日本語3」を開講し各科目1単位を認定

していた。しかし、「ビジネス日本語」のレベル変更に伴い秋学期には「ビジネス日本語1」と「ビジネス日本語3」の2科目のみ開講することとし、「ビジネス日本語2」と「ビジネス日本語4」は2013年度春学期に開講することとなった。「漢字コース」は「漢字1000」「漢字2000」を開講しそれぞれ1単位を認定している。

なお、2005年度以降短期留学生を対象とした日本語コースは全学向け日本語プログラムに統合されているため、開講科目の詳細に関しては全学向けプログラムの報告を参照いただきたい。

2. 2012年度の改善点

2011年度末にはコースのあり方を見直すため、日本語科目担当教員からコース運営方針等についての意見を聞くアンケートを実施した。質問項目は1)カリキュラム・シラバスに関して、2)教材に関して、3)教室活動に関して、4)評価方法に関しての4点であり、具体的な提案を求めため、全て記述回答とした。その結果、火急に対応すべき課題として「短期留学生を対象とした日本語科目は全学向け日本語プログラムに統合されているが、その評価方法、修了認定の方法が身分によって異なるのは非常に煩雑であり、同時に受講学生の態度にも影響を与える」が多くの教員から指摘された。

そこで、2012年度からは、受講生の身分に関わらず以下のように成績認定を行うこととした。まず、成績認定にあたっての評価項目と割合の基準を次のように例示した。

テスト：70%

日常評価：30%（宿題・クイズ等）

ただし、科目によっては、宿題やクイズを実施していない場合もあり、また会話のクラスではディスカッションの参加度、貢献度で評価する部分も多いと考え

られる。したがって、全レベルや全技能で、成績認定の項目や重み付けを統一するのではなく、それぞれの科目でその授業内容に合った評価項目、重み付けを行い、それを科目オリエンテーションの際に徹底することをお願いした。

また、従来、出席率も成績認定の評価項目として含んでいたが、出席率に関しては「修了認定基準」でのみ取り扱うことにし、成績認定の評価項目には原則として組み込まないこととした。以上が2012年度の改善点である。

3. 登録・成績状況

表1は春学期と秋学期の標準日本語コース、表2は集中日本語コースの登録者数を示したものである。登録者数は春学期には短期留学生の80%に相当する99名中79名が、秋学期においては86%に相当する89名中76

表1 標準日本語コースの登録者数

	春学期	秋学期
SJ101	3	9
SJ102	3	2
SJ200会話1&2	3	1
SJ200読解	3	1
SJ200聴解	3	0
SJ200文法・談話	3	1
SJ201会話1&2	0	2
SJ201読解	0	1
SJ201聴解	0	1
SJ201文法・談話	0	1
SJ202会話1&2	10	0
SJ202読解	9	0
SJ202聴解	10	1
SJ202文法・談話	10	1
SJ300会話1	7	3
SJ300会話2	7	6
SJ300読解	7	5
SJ300聴解	7	5
SJ300文法・談話	7	7
SJ301会話	16	8
SJ301読解	15	3
SJ301聴解	14	3
SJ301作文I	17	5
SJ301作文II	18	6
漢字1000	11	6
漢字2000	7	2
ビジネス1	6	2
ビジネス2	14	
ビジネス3	2	8
	212	90

表2 集中日本語コースの登録者数

	春学期	秋学期
IJ111	7	9
IJ112	1	6
IJ211会話1&2	16	7
IJ211読解	16	5
IJ211聴解	16	6
IJ211文法・談話	16	11
IJ212会話1	7	13
IJ212会話2	7	11
IJ212読解	7	12
IJ212聴解	7	9
IJ212文法・談話	7	9
	107	98

名が日本語を受講している。2011年度は春学期、秋学期ともに95%の学生が日本語を受講していたが、2012年度は例年に比べ受講率は低くなった。その要因は上級レベルの標準日本語コースの受講者数の減少に起因するとも考えられる。その減少が日本語で短期留学生に開放される専門科目の充実によるものかどうかは今後さらに検討する必要がある。

4. 今後の課題

2011年度にはコースのあり方を見直すため、日本語科目担当教員からコース運営方針等についての意見を聞くアンケートを実施した。2012年度には中級の受講者から要望の多かった中級教材の改訂も行った。今後も、コース評価の意見を参考にしつつカリキュラム、コース運営の改善を検討していかなければならない。